



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2021年
6月2日
発行

第91回

「日経平均はボックス圏から上昇へ」

～世界経済回復とコロナ沈静化がポイント～

初めに

日経平均は長期にわたってボックス圏での動きを続けていますが、そこから抜け出し、上昇に転じる状況が整ってきたと考えています。今回はそう考える理由をお話しします。主な理由は2つです。国内の新型コロナ対策の進展と世界的な景気回復の持続です。以下、順に説明します。

ワクチン接種の進展でコロナは沈静化へ

日経平均の頭を押さえている1番の要因は感染拡大になかなか歯止めがかからない点にあったと考えています。日本のコロナ対策は初期の段階では称賛を浴びましたが、その後はワクチン接種の遅れや不手際、変異種への対応の遅れなどから非難を受けました。この一連のコロナ対応が日経平均が上昇できない理由だったと見ています。もしこの見方が正しければワクチン接種も順調に進み始めたことから、日経平均も自然と上昇に向かうことになると思います。

コロナ後を見据えた内需株投資

コロナ後を見据えた株式投資となるとやはり、旅行、外食、レジャーなどが中心と思われます。規制が一部緩和されたことも人気に繋がりそうです。このように新型コロナで打撃を受けた企業の先行きに灯りが見えてきたことが日経平均の上昇を見込む理由の一つです。

世界経済は回復基調を維持

日経平均の上昇を見込むもう一つの理由は世界経済が引き続き回復基調にあることです。これからはこの点についてお話しします。

OECDは世界経済の見通しを上方修正

5月31日経済協力開発機構（OECD）は今年の世界経済見通しを3月時点の予測から0.2%上方修正しました。これは世界経済が引き続き回復局面にあることを示すものと言えます。景気回復の遅れが指摘されている日本でも海外の景気に敏感な鉱工業生産は3月、4月と連続してプラスとなりました。このように世界経済が回復を続け、それが日本経済に好影響を与えていることも日経平均上昇を見込む理由です。

好決算で3万円超え

7月から8月にかけて決算発表を迎えます。前回は決算はよかったものの織り込み済みで株価の反応は今一つと言う例が目立ちました。今回も半導体などを中心に好決算が見込まれていますが、さすがに2回連続で織り込み済みはないと思います。この様に考えて決算発表中のどこかで日経平均が3万円を回復することがありそうだと見ています。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あつせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2021年
6月7日
発行

第91回 「日経平均はボックス圏から上昇へ」 (補足)

補足

日経平均は今年の春に3万円を超えましたが、その後はボックス圏での動きに留まっており
ます。自分は、この現在の日経平均の状況は昨年アメリカの大統領選挙を控えた時期の動き
に似ていると考えています。当時は日経平均はボックス圏での推移を続けていましたが、約6
か月の調整期間を経て上放れしました。現在の日経平均も日柄調整が十分進んだ状況にあり、
かつ決算発表では好決算が見込まれておりワクチン接種もここにきて進んでいることなどから、
日経平均は近日中に水準を切り上げ3万円を超えると予想しています。



日経平均 (2020年1月1日~2021年6月4日) 週足の推移
e-AURORA Beacon × Qr1の情報を基に、西村証券作成

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したものではありません。あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等のご遠慮ください。